北海道立三岸好太郎美術館　所蔵品展第4期・三岸好太郎の世界

好太郎ライジング

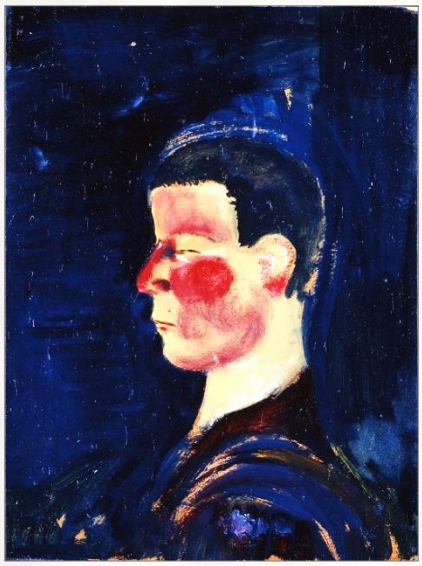
―若き日の挑戦　2016.1月30日(土)～3月27日(日)

三岸好太郎は大正10年、札幌一中(現在の札幌南高校)を卒業して上京しました。中学時代に描かれた自画像には、画家をめざす青年の力強い気迫が表れています。様々な表現を模索した三岸の初期作品を中心に紹介し、常に挑戦を続けた制作の軌跡をたどります。

好太郎17歳のポートレート

三岸好太郎〈自画像〉1921年

三岸好太郎〈檸檬持てる少女〉1923年



三岸好太郎〈横向少年〉1922年頃

三岸好太郎〈小学時代の水墨画〉1915年

同時開催　2階資料展示室

〈もうひとつのライジング〉

三岸は道展(北海道美術協会)結成時(1925年)からの会員でした。そして今、同会が2008年から若い作家を対象に行っている〈道展U21〉のこれまでの大賞・準大賞受賞作から7点を展示します。
(所蔵品展観覧料でご覧になれます)

佐藤綾香〈INSIDE BLACK〉2010年

佐藤菜摘〈まどろもり〉2012年

会期中のイベント
＊都合により変更することがあります

♪1/30(土)14:00～ミニ・リサイタル(199回)
　ソプラノ:安達彩子、菅原弥生　ピアノ:日小田 直美
○2/11・18(木) オリジナル・スイーツ・デー
♪2/13(土)14:00～ミニ・リサイタル(200回)
　マリンバ:菊地由貴、ピアノ:樋口千夏
　ヴァイオリン:伊藤香織、フルート:森　愛雅
　クラリネット:高畑友香、
♪3/12(土)14:00～ミニ・リサイタル(201回)
　ソプラノ＆アイリッシュハープ:宇治美穂子
　ソプラノ:大友弥生・中村会子
●つくるのだいすきコーナー
　展示作品に関連してちょっとした制作体験ができます。

●土曜セミナー
2/20(土)14:00～(約1時間)

三岸の生まれ育った時代から続く札幌の風景について、道新連載「モノローグ紀行」でもおなじみの気鋭の歌人、山田航氏からお話いただきます。

〈すすきの生まれ　三岸好太郎の原風景〉

講師:山田 航(歌人)

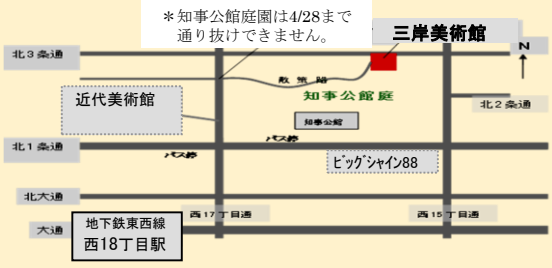
会場:当館会議室(要観覧券)

❤Café きねずみ

おいしいコーヒーや、
桑園地区のお店のパン、
お菓子などをご用意。
お庭の景観を
楽しみながら
おくつろぎください。

会期中の休館日:月曜日(3/21を除く)、3/22(火)
開館時間:午前9時30分～午後5時(入場は4時30分まで)
＊作品解説いたします。会期中、祝日と午後のイベント開催日を除く毎日、午後1時～3時、解説員が待機しております。

観覧料:一般510(420)円　高大生250(170)円　(　)内は10名以上の団体
＊道立近代美術館「近美コレクション」もあわせてご観覧の場合／
一般820円(660円)　高校・大学生410円(270円)　(　)内は10名以上の団体
＊中学生以下、65歳以上は無料。毎週土曜日は高校生無料。

北海道立 三岸好太郎美術館　MIGISHI KOTARO MUSEUM OFART, HOKKAIDO

〒060-0002　札幌市中央区北2条西15丁目　TEL 011-644-8901
北3条通・知事公館北側　●地下鉄東西線「西18丁目駅」から約500m　●JR/中央バス(札幌←→小樽手稲方面)「道立近代美術館」停留所から約250m　●タクシーで札幌駅から5-10分
●JR桑園駅より約1.2km(徒歩14分)　＊駐車場はビッグシャイン88北1条駐車場が利用できます。(有料・割引あり)
☎テレホンサービス・011-621-7000
HP・ http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/mkb/